

令和5年度第3回文京区特定健康診査等実施計画等検討協議会会議録

日時：2024年1月15日（月曜日）18:30～19:30

場所：文京シビックセンター24階 区議会第1委員会室

参加者：古井会長、佐川委員、柿本委員、諸留委員、内野委員、大橋委員、井上委員、染谷委員、長井委員
福祉部長、福祉部国保年金課長、国保年金課管理係職員
(株)JMDC

資料：資料第1号 文京区国民健康保険第2期データヘルス計画・第4期特定健康診査等実施計画（令和6年度～11年度）（案）
資料第2号 素案からの主な変更点等について

議事概要

※ 以下、各委員の発言については要点筆記。

1 文京区国民健康保険第2期データヘルス計画・第4期特定健康診査等実施計画（案）について

(1) パブリックコメントの結果について

令和5年12月4日（月）から令和6年1月4日（木）までパブリックコメントを実施したがご意見はなかった旨を報告。

(2) 概要について

資料第1号及び第2号に基づき変更点を中心に説明

委員A： 計画中に「健康寿命」という言葉が出てくるが、言葉の定義にばらつきがあり、はっきりしていない。他事業との整合性が取れていないため統一してもらいたい。

事務局： 計画策定に当たり用いているKDBシステムでは、健康寿命について、全国共通で要介護度2以上が該当するように設定されている。本計画については、全国、都と横並びで比較を行うことができるようKDBの設定を基準としたい。いただいたご意見については、区として共有したい。

委員B： 地区ごとに分けられて分析されているのは良いことであり、数年後にそれぞれの地域がどうなっていくかを見ることで、アプローチの成果がみえるようになる。事業番号9の取組と結果をリンクさせて中間評価時点で効果測定があると良い。

文京区のデータの分析結果は良い状態にある。20頁の図表1や2について見てみても、東京に比べても良い状態。良い状態の原因は見つけにくいですが、要因分析があればほかの自治体にも成果が伝えられ、文京区が他自治体にとっての一つの目標値になるのではと思う。

31頁の重複多剤に関するコラムの中で6剤以上は健康への影響があると書いてある一方で、45頁の目標に係る評価の定義が15剤以上となって

おり、食い違っているのでは。

55 頁のコラムで、がんについて区民の方が見られるようなホームページの紹介が参考資料としてあるとよいと思った。

事務局： まず、重複多剤について、健康課題という意味では 6 剤以上の服薬で副作用等のリスクが高まるといわれているが、一方で国では医療費適正化計画において 15 剤以上がとりあげられている。

本計画の一つの目的として医療費の適正化を掲げているため、指標としては 15 剤以上とさせていただいたが、区民の方に読んでいただくコラムについては、薬が増えることへのリスクとして 6 剤をあえて記載したいと思っている。

ホームページの紹介については確認の上、参考データ等のありかを記載したい。

委員 B： 関連で追加の質問として、53 頁の重複多剤服薬対策事業の事業概要①に服薬情報を通知する旨が書かれているが、具体的には 15 剤以上飲まれている方に個別通知を送るものか。

また、相談を促すとあるが、具体的にどこにすればよいか明記されているのか。

事務局： こちらの事業については、15 剤以上処方されている方に個別通知を送っている。また、服薬に関する相談を、かかりつけ医、薬局に相談してもらうよう、お送りする通知の中に同封して促している。

委員 A： 27 頁のコラムにある「尿路結石」について、結石ができるのはまず腎臓なので、「尿路結石」の前に「腎臓結石」の記載があるべきではないか。

会 長： 事務局は参照元があると思うので、そちらの確認お願いしたい。

委員 C： 55 頁のコラムについて、「がんの促進に働く」という言い回しはポジティブな意味にもとられかねないので、一般の方に対してはわかりにくい。がんにならないために何をすればいいかという記載ぶりにすればいいと思う。

38 頁のコラムについて、適切な運動量とあるが、アクティブガイドが 2013 年のものであり、もうすぐ 2023 年のものが出るので 2023 年版のものにしてはどうか。

40 頁のコラムについて、自分に最適な食事の量とバランスとあるが、このコラムを見ても自分の最適な量が読み取れない。内容と食い違わないタイトルにしてもらいたい。

事務局： 参照元の書きぶりや意見を踏まえて加筆が必要なものには加筆をしたい。

委員 C： 会長にお尋ねしたい。21 頁にレーダーチャートを用いているが、このように 2 つのデータを比較する場合に使っていいものなのか。

会 長： 事務局は、出典からこのような表記となった背景は何かあるか。

事務局： KDB 帳票のスコアリングレポートと同じようにスコアを利用しており、考え方が引っ張られた。表記がそぐわないということであれば、再検討したい。

会 長： 出典にこのようなものがあるわけではなく、あえて作るのであれば、確かに死因だとレーダーチャートはそぐわないかもしれない。レーダーチャートにするかどうか検討してほしい。
他に質問はあるか。できれば、今回は最後の検討協議会なので、何かご感想も含めて一言いただきたい。

委員 D： この会に参加することで、区民の健康や医療費について取り組んでもらっていることを実感できた。それだけでも、この会に参加できてよかった。

委員 E： 健診で自分の体を分けることが必要なんだと思うが、どうして受診率が低いか考えると、まず予約がとりづらい（一回決めた日で予約が取れない）ことや、健診を受けると色々なことが見つかって病院に行かないといけなくなるから健診を受けたくない等の理由が考えられる。
そのような中で、どうやって健診の必要性について区民にアピールするかが、本計画の中では弱いのではないかと思う。各部署で施策を検討し、一人でも多くの方が受診できるようになると良い。思った以上に 1%の人数が多くないので、やりようによっては受診率も 5%くらい上がるのではないか。
きっと良い方法が見つかるのではないかと考えているので、私も何か考えが出た時には意見したい。

会 長： たしかに文京区全体で見ると人数は多いが、地区別、年齢階級にすると人数は少ない。そういった視点で、取り組むのは重要になる。

委員 E： 世代別、男女別でもアプローチの仕方が変わるのでは。パンフレット一つにしても工夫の仕方がある。
特に、フリーランスや自営業の方は、時間がとりづらく、土日に健診できる場所をアピールすると計画に書いてあるが、実際は機会も少ないのではないか。あるいは、集団健診など受けてもらうための体制整備が必要ではないか。とにかく、健診に行ける体制を考えた方がよい。

委員 F： 区の取組を知ることができ、色々勉強になった。自分自身が健診に行っていない。毎年通知には目を通してはいるが、日程が合わないを受けないまま、その年度が終わってしまう。会議に参加し、健診には行かないといけなかつくづく思った。

一点質問なのだが、特定保健指導を年間を通してやっていると思うが、期間や回数は同じなのか、個人の状態によって違うものなのか、また、運動処方誰がやるのか。

事務局： 期間は 6 か月の実施。民間に委託し個別に面談をした上で、生活習

慣の改善、運動処方について指導している。誰が行っているのかについては後程ご回答したい。

委員 G : 自分自身、健診は未受診。会に参加することで勉強になった。やはり、かかりつけの医院がないと通えないかなと思う。

委員 H : 細かいデータの分析に感心した。
パブリックコメントがないことは残念。パブリックコメントのかけ方も工夫を検討した方がよさそう。関心はあると思うので、掘り起こしが必要と感じた。
健診を受けているが、毎年1月の寒い時期になってしまう。

委員 A : 皆さんから予約が取りづらいという話があったが、私も受診しているが、ずいぶん前から予約しないと取れない。
また高齢者は健診まで食事をとらないのは体に悪いから、午前中に受診するよういわれたが、余計に予約がとれない。今年は1月4日に受診したがスムーズに受診できた。皆さんの参考になればと思い、お話した。

委員 C : 本計画書が次の担当にお渡しする引継書になると良い。この計画のとおりに進むと大成功だと思う。

委員 B : 委員 E から年代別のアプローチ方法などが意見として出ていたが、区民からこのような意見が出るのが素晴らしい。区民と一緒に進められており良いと感じた。
文京区の自殺死因のスコアが良いことや平均自立期間が大変良い状態なのは地域の方の仲が良く、顔の見える関係を築くことで健康にもいい影響が出ているのかなと感じた。
また、健康のためには、健診だけでなく保健活動や学校保健活動が重要となるが、これらについても計画内で言及されて良いと思う。

会 長 : 他に全体を通して何か意見等はあるか。

事務局 : F 委員からの運動処方について、保健指導は庁内別の部署で実施しており、国保年金課が実施していないため、直接確認ができていないが、運動指導士につなげていると思う。

2 その他

今後のスケジュールについて、2月に行われる文京区議会に報告ののち成案とする。その際、計画の趣旨とは外れないように文言修正は責任をもって行う旨を事務局より説明。福祉部長より御礼のご挨拶。

会 長 : この会議は、専門家の先生方はもちろんのこと、区にゆかりのある区民の皆さんが、自分事として、自分の地域のことをみてくださっていて非常にありがたい。この地域はどんな人が住んでいて、どんな医療機関があって、どのようにしていけば文京区がもっとよくなるか改

めて興味を持っていきたい。

先ほど分析がよかったと話があったが、例えば、33 頁の図表 21 「地区別特定保健指導実施率」をみると、地域によって実施率にばらつきがあり、圏域 4（駒込）の割合が最も低くなっている。そして、37 頁の図表 28 「地区別メタボリックシンドローム該当者率及び予備軍該当者」の左側の図表「メタボ該当者率」をみると、圏域 4（駒込）の割合が最も高い。メタボになる要因は色々あるが、その一つとして、特定保健指導の実施率が低い地域がこういう結果になっている、これも一つの示唆なのではないか。

こういったデータを、これから 6 年間丁寧に見続けていくと、ヒントが得られるのではないか。また、自治体だけでは力が限られるため、専門家も応援しながら、区民自らが行動を起こしていくための非常に貴重なデータになるのではないかと思う。

会長より御礼のご挨拶の後、閉会。